

# 柔道しずおか

平成21年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒420-0911 静岡市葵区瀬名7-2-38 佐々木秀男  
TEL 054-265-5272 FAX 054-265-5274

## 【巻頭言】

### 会長就任にあたり

静岡県柔道協会 会長 八段 安齊悦雄



平成20年3月の評議員会において静岡県柔道協会会長に推挙され、身に余る光栄であると同時に責任の重さを痛感している次第であります。

就任にあたり、私なりに平素より考えていたことについて若干述べさせていただきます。

現在、当協会は、運営にあたりまして様々な課題が山積している状況にあります。

そうした課題を一つでも多く解決できるか、また、どのように改善できるかが、私の役割であり、それが職責であろうと考えております。

当協会は、柔道の普及発展と競技力向上を二本の柱とし、推

進しているところであります。

このためには、まずは、柔道人口の減少対策に取り組まなければなりません。

少子化が加速する中、いかに、柔道人口の減少を食い止めることができるか。あるいは、あわよくば増すことができるかということになるかと思われれます。

この時代、道場で入門者を待っているだけでは、なかなかきてくれません。

柔道の普及については、ポスターや関係施設へのチラシ配布などのPR、普及活動が不可欠であると考え従来から実施しているところでは、柔道

は、楽しいもの、かつ安全なものというイメージが大切で、これを訴えていかなければならぬと考えております。

これをベースとし、未体験の一般を対象とした親子（母子）柔道教室や公開柔道教室等々の継続開催が必要となります。

そして、経験者には安全教室、指導者講習会、審判講習会、生涯柔道を目指した形競技会や高段者大会の開催、柔道ルネッサンス活動、その他、過去の経験者掘り起こしなども同様に大切になってくるわけでありです。

また、試合の運営方法等にも改善の余地があります。出場者がステータスを感じることのできるような会場づくり、整齐と進行できる環境づくり等々であります。

競技力向上については、オリンピックの例を挙げるまでもなく、強くなれば人気が出ます。普及活動の特効薬的な役割を果たします。当協会の組織力・実力というものを県内外に示すことができるとして、大いに力を注ぐ必要があると思っております。

この他にも、年間行事や役員委嘱に伴う連絡方法の合理的な簡素化、改善すべきことは、たくさんあります。

いっぺんにはできません。初年度は、できることから始めようと、副会長、理事長、事務局長等主要役員と相談し、理事等役員各位の同意を得ながら進めております。

しかしながら、これらを進め

ていくための財源が必要となることをご理解いただかなくてはなりません。競技人口の減少の中、現在の昇段審査受験料頼みでは、困難となって参ります。

資金作りについての抜本的な方策は、会費問題等々、避けては通れません。将来的には、組織の見直し等も視野に入れながら進めて行かなければならないと考えており、我々からも理事会等を通じ、発信して参りますので、皆様方からの積極的なご意見をお寄せいただきたいと思

います。

いずれにいたしましても、協会の運営は会員皆様の協力なしでは成り立ちません。

これら課題を会員全体の共通した問題として正面から対応し、先達が築いてきた伝統ある静岡県柔道協会を正しく継承・発展させていかなければならないと思っておりますので、皆様方より一層のご協力をお願い申し上げます。



## 【退任挨拶】

## 退任に当たり思うこと

## 転換期の柔道

前会長 高柳喜一

三期九年にわたり会長を務め、静岡県柔道の普及に努めてきた。「感動する柔道」を合い言葉に、柔道人口を増やし、指導者の充実をめざし、国体やマスターズ等の大会を静岡県で行った。

さらなる柔道の発展を期待するが、その上で、今柔道が大きな転換期にあることを認識しておく必要がある。その一つが新しく導入される「世界ランキング制」である。国際大会で勝った選手には賞金が与えられ、また成績に応じてポイントも与えられるようになる。世界中の選手をランキングで分け、ランキングの上位にいないければオリピックにも出場できなくなる。現在の選考と大きく変わり、はっきり分る結果で選手を選ぶというのは分かりやすく、選手も納得できていいという面もある。世界中の選手を、大会毎に強さでランキングすることで、大会

の注目度を増す、世界一になるという選手はより練習に励み、柔道のレベルも上がる。そうしたことで、世界の柔道人口は増えていくであろう。また、賞金が与えられることで、選手が柔道に集中できる環境が整うようになるかもしれない。柔道はアマチュアスポーツで、一部の選手を除き柔道だけで生計を立てるのは年々難しくなっている。不況になると、これまで選手をサポートしていた企業の数が減るからだ。既に賞金制やランキング制が導入されているテニスは、発祥の地イギリスから、60年以上チャンピオンが出ていないように、柔道においても、日本からチャンピオンがでなくなる可能性がある。そうしたことがないように、後進の指導にしっかりあたりていくことが、これまで以上に求められていくと思う。

あまりに重視されすぎて、柔道の精神を忘れてはならないということだ。嘉納師範は「精力善用」「自他共栄」を柔道哲学とした。「精力善用」とは自分の持つ心身の力を最大限に使って、社会に対して善い方向に用いること、「自他共栄」とは相手に対し、敬い、感謝をすることで信頼し合い、助け合う心を育み、自分だけでなく、他人と共に栄えある世の中にしようということである。こうした柔道を通して得られる精神こそ大切だという考え方だ。勝つことはもちろん大切だが、それよりも、そこへ至る準備や努力が重要なのである。負けた時は、勝負の道を教えて頂き有り難うございましたと潔く頭を下げ、また努力する、そこに、勝負を越えた、「礼に始まり、礼に終る」嘉納師範の精神があると思う。ランキング制になり、毎回の試合で順位が変わるようになれば、勝つことが一番の目的になる。勝つことはもちろん大事だが、勝ちにこだわるあまり、嘉納師範が掲げた精神を忘れてしまえば、柔道が本来持つ意味がなくなってしまう。柔道の大きな転換点を迎えている今こそ、柔道の基



本に立ち返る必要を感じる。

## 高柳前会長・安齊新会長を囲む会

平成20年6月13日  
午後6時30分  
ホテルアソシア



110名を超える出席者の中、野田理事長の開式の言葉で囲む会が開始された。司会は佐々木事務局長が担当した。発起人を代表して高田副会長から挨拶があり、両氏に花束が贈られた。高柳前会長へは川中副会長が、安齊新会長には県警の小椋さんが贈呈した。その後両氏の謝辞があり、永田顧問の発声により乾杯が行われ懇談となった。

途中、生後まもないご長男を連れてバルセロナ五輪銀メダリストの溝口氏も参加され花を添えてくれた。高柳・安齊両氏を囲み和やかな歓談が続いた。

予定時間をだいぶ超過して、中西顧問の音頭で万歳三唱が行われ、野田理事長の閉式の言葉で会は終了した。

なお、囲む会に先立って協会役員により慰霊祭が行われ、最近の10年間に亡くなられた柔道協会関係者の霊を慰めた。

第63回 国民体育大会

大分国体成年男子3回戦進出

第63回国民体育大会柔道競技は大分県立総合体育館にて開催され、本県は成年男子のみの出場となった。結果は、3回戦で優勝した東京都に敗退し上位進出はならなかった。国体の様子を渡辺達也監督(静岡県警察)に報告してもらおう。



第六十三回国民体育大会柔道競技報告

成年男子監督 渡辺達也

(静岡県警察)

第六十三回国民体育大会は、平成二十年九月二十八日から三十日までの間、大分県立総合体育館にて開催されました。

大分県での国民体育大会開催は四十二年ぶりです。そのときの柔道少年男子では静岡県が優勝をおさめており、本県とは縁のある県での開催となりました。そして、当時の優勝メンバーで大將で出場した根本谷信一先生(沼津市立高校教員)も応援に

駆けつけていただきました。今回の静岡県チームは、少年男女、成年女子が東海ブロック大会で敗退したことから成年男子のみの参加となり、出場できなかった他の選手のためにも一戦一戦勝ち抜いて静岡の強さを見せなければとチーム一丸となって試合に臨みました。

総監督 野田昭一 (東海大学)

総務 勝呂良三 (庵原高校教員)

トレーナー 鈴木孝次 (孝心整骨院)

成年男子 監督 渡辺達也 (静岡県警察)

先鋒 漆畑 良 (東海大学)

次鋒 日下徹朗 (静岡県警察)

中堅 小椋俊彦 (静岡県警察)

副将 増田圭省 (株セコム)

大將 齊藤和仁 (静岡県警察)

初戦は、二回戦からで、一回戦で鳥取県に勝った山形県との対戦となりました。

【静岡県 二対〇 山形県】  
先鋒 漆畑 (東海大学)

○優勢勝 新野 (自衛隊)

投で攻め合う。中盤、新野の右小外刈を上手く捌いて朽木倒で「有効」そのまま攻め続け試合終了。先鋒が勝利したことで試合の流れを掴むことができた。

次鋒 日下 (静岡県警察)

引き分け 齊藤 (山形県警察)

お互い左組の合い四つで組み合い、日下は足技を中心に攻める。残り一分、日下の朽木倒で齊藤が横倒しとなり、主審は有効を宣告するも両副審に取り消しとなる。試合終了間際に日下が外刈を仕掛け、投げたものの僅かにブザーが早く試合終了。

中堅 小椋 (静岡県警察)

引き分け 酒井 (山形県警察)

お互いケンカ四つで小椋は、内股、小内刈、体落で積極的に攻めるも決め手がなく時間となる。

副将 増田 (株セコム)

○一本勝ち 松田 (山形県警察)

開始早々、組際の右一本背負投が見事に決まり「一本」試合時間四秒。静岡県の勝利が決まる。

大將 齊藤 (静岡県警察)

引き分け 海藤 (山形県警察)

お互いケンカ四つで齊藤は内股、大外刈、海藤は朽木倒で攻めるが両者譲らずそのまま時間終了となる。

三回戦は、強豪の東京都との対戦。昨年の秋田国体でも三回戦で対戦して一対一の内容差で惜敗していることから、今年こそはなんとか勝ちに結び付けたいと試合に臨みました。

【東京都 四対一 静岡県】

先鋒 江種 (警視庁)

○一本勝ち 漆畑 (東海大学)

開始早々、漆畑は、組み手を先にとられ何もできないまま右一本背負投「一本負け」

次鋒 成田 (アルゼ)

優勢勝 日下 (静岡県警察)

日下は開始早々、狙いすましたように小外刈から朽木倒への連絡技で「技あり」。その後日下は劣勢となり朽木倒で「有効」を奪われるが、その後巧く捌いて時間終了。

中堅 西山 (新日本製鐵)

○一本勝ち 小椋 (静岡県警察)

お互い左組の合い四つで両者激しい組み手争いであったが若干消極的となった小椋に「教育的指導」。二分過ぎに組み勝った西山が仕掛けた大外刈が見事に決まって「一本」となる。

副将 高井 (旭化成)

○棄権勝 増田 (株セコム)

序盤、増田は袖釣込腰を中心に攻め、高井の内股を巧く捌いていた。増田が裏技を仕掛ける場面もあったが不十分。中盤、

高井は左内股から大外刈に連絡し、「技あり」を奪いそのまま押し込みにいくが投げられた際に増田が左手首を負傷し、棄権となる。

大將 棟田 (警視庁)

○一本勝ち 齊藤 (静岡県警察)

お互いケンカ四つで引き手の取り合いであるが一分三十秒、齊藤に「教育的指導」その後、棟田の仕掛けた内股が「技あり」となりそのまま袈裟固で抑え込まれ合技「一本負け」となる。

結局、成年男子は東京都が圧倒的な強さで優勝。全日本の一線級の選手をそろえ、層の厚さから常に上位入賞している東京都との対戦でしたが、昨年、今年と対戦できたことは選手にとっては良い経験となったと思っています。今後は強化練習等を積極的に実施し、選手の強化に努めていく所存であります。大会出場にあたり、ご支援及びご声援いただいた方々に感謝申し上げます。大会の報告といたします。

◆第56回体育功労賞 8段 中西儀久

柔道協会の東部地区幹事を長く務められた中西儀久先生が静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞(体育功労者賞)を受賞され、祝う会が3月16日ホテル沼津キャスルで開催された。主催者挨拶に続き、齊藤県体協会長・安齊柔道協会会長から祝辞をいただき、



永田重郎の御参杯、乾杯、の120名が得た。顧問の乾杯、約120名が得た。参加者を待たされた。

第63回 国民体育大会

東海ブロック予選会 代表選手ならびに結果

平成20年 8月17日 愛知県武道館

(メンバー)

総監督 野田昭一 (東海リハビリテーション専門学校)

総務 渡辺達也 (静岡県警察)

総務 西川勝啓 (裾野高校教員)

成年女子

監督 左口直人 (天竜林業高校教員)

先鋒 川口有紀 (静岡県警察)

中堅 松本笑嘉 (東海大学)

大将 岡田紘味 (三井住友海上火災)

少年男子

監督 間宮幸男 (興誠高校教員)

コーチ 宮本昌人 (常葉学園高校教員)

先鋒 庄司史成 (静岡学園高校)

次鋒 鈴木 隼 (静岡学園高校)

中堅 伊野和也 (飛龍高校)

副将 渡辺祥真 (沼津市立沼津高校)

大将 新村三四郎 (浜松商業高校)

少年男子支援選手

先鋒 新垣海斗 (御殿場西高校)

次鋒 白土 優 (浜松商業高校)

中堅 高田博文 (静岡学園高校)

副将 平井亮輔 (東海大翔洋高校)

大将 堀川達也 (東海大翔洋高校)

少年女子

監督 勝呂良三 (庵原高校教員)

コーチ 沼野由香利 (藤枝順心高校教員)

先鋒 加賀谷千保 (藤枝順心高校)

中堅 井深寿美 (庵原高校)

大将 土屋文香 (東海大翔洋高校)

少年女子支援選手

先鋒 金田結花 (浜松商業高校)

中堅 綾部友美 (東海大翔洋高校)

中堅 鈴木流風 (浜松商業高校)

大将 古木里香 (浜松商業高校)

結果

成年女子 静岡3敗 昨年1

位で地区予選を通過した時と同じメンバーであったが、リズム

が狂ってしまい全敗となつてしま

まった。

少年男子 静岡2勝1敗 同

率1位になったが内容差で3位

となり、本大会への出場を逃が

した。

少年女子 2勝1分 先鋒加

賀谷選手の欠場を補欠の金田選

手が良く頑張りその責任を果た

した。中堅も綾部選手に変更し

勝負に出たが、同率1位、内容

差で愛知県に惜敗した。

第50回

静岡県柔道祭開催

今年度の柔道祭は5月4日

(日)静岡県武道館で開催され

た。恒例の静岡県柔道協会表彰

は以下の方々が表彰された。

静岡県柔道協会表彰

特別功労賞

八段 高柳喜一

七段 山崎陸雄、望月秋男

西島外美雄

六段 渡辺篤司

功労賞 五段 西川勝啓、今富孝憲

鈴木 精、加藤 宏

西川孝治、河合和夫

四段 村松辰巳

優秀選手賞

三段 日下徹朗 (静岡県警察)

平成19年度全国警察柔道選手

権大会 73kg級 第3位

また、国際大会出場選手紹介

というところで、5月17日にフラ

ンスで行われるフランスジュニ

ア国際大会女子52kg級に出場す

る加賀谷千保選手 (藤枝順心高

校3年)が紹介された。

小学生から社会人まで静岡県

内の柔道愛好家が一堂に会する

唯一の大会となった「柔道祭」

が文字通り「祭り」のように盛大に開催された。

団体成績

小学校の部

1位 錬心館

2位 神士館

3位 大仁柔道会

3位 清水柔道倶楽部

中学校の部 (男子)

1位 静岡学園中学校

2位 東海大翔洋中学校

3位 静岡服飾中学校

3位 浜松北浜東部中学校

中学校の部 (女子)

1位 富士宮第一中学校

2位 静岡学園中学校

3位 常葉学園橘中学校

3位 新居中学校

高校の部 (男子)

1位 飛龍高校

2位 浜松商業高校

3位 静岡学園高校

3位 市立沼津高校

高校の部 (女子)

1位 東海大翔洋高校

2位 藤枝順心高校

3位 加藤学園高校

3位 浜松商業高校

一般の部

1位 NPO武道学舎

2位 総合警備保障静岡

3位 富士市柔道会

3位 東海翔柔クラブ

優秀選手

小学校の部

熊澤廣隆 (錬心館)

森下北斗 (神士館)

中学校の部 (男子)

小澤秀彰 (静岡学園中学校)

立川功大 (東海大翔洋中学校)

中学校の部 (女子)

渡辺貴子 (富士宮第一中学校)

原田祐花 (静岡学園中学校)

高校の部 (男子)

伊野和也 (飛龍高校)

鈴木良幸 (浜松商業高校)

高校の部 (女子)

土屋文香 (東海大翔洋高校)

星野未帆 (藤枝順心高校)

一般の部

萩原 渡 (NPO武道学舎)

杉山佑紀 (総合警備保障静岡)

講道館柔道「形」優秀賞

投の形

取四段 齊藤修司 (士道会)

受四段 尾藤設則 (士道会)

極の形

取五段 森下良男 (浜北柔道協会)

受四段 高林裕介 (浜北柔道協会)

柔の形

取七段 白井康二 (新居体育協会)

受四段 白井恵子 (新居体育協会)

# スポーツ フェスティバル

今年度のスポーツフェスティバルは西部地区は11月9日(日)浜松市浜北総合体育館、中部地区は11月16日(日)静岡市北部体育館、東部地区は11月9日(日)沼津市勤労者体育センターで開催された。各地区それぞれ工夫して実施しており、柔道の普及に努めている。各地区の様子を簡単に報告する。

## 西部地区

成年の部(66名参加)初段から4段までリーグ戦にて実施した。高校男子無段の部(1年生33名参加)トーナメント戦にて実施した。高校男子有段者の部(1年生36名参加)は体重別で3階級に分けてトーナメント戦にて実施した。高校女子の部(1年生14名参加)は体重無差別のトーナメント戦で実施した。中学女子は団体戦で行い12チーム約60名が参加した。中学男子も団体戦で行い21チーム約150名が参加した。小学生の部は低学年と高学年に分け団体戦にて実施し、合わせて30チーム約180名が参加した。

## 中部地区

三種別による団体戦(3人制)を実施した。種別①(初段〜3段、18歳〜30歳)年齢は若く現役で活躍する選手が多く参加した。種別②(2段〜4段、30歳〜45歳)年齢は中位、実力と重みがある往年の名選手が多く出場した。種別③(2段〜4段、40歳以上)年齢は上位、仕事と柔道を両立させ精一杯の試合を見せてくれた。14チーム約50名が参加した。

## 東部地区

一般の部(22名参加)は初段から4段までリーグ戦にて実施した。高校男子(36名参加)はAの部、Bの部に分けてトーナメント戦にて実施した。高校女子(8名参加)は体重無差別トーナメント戦で実施した。中学男子(15チーム約100名参加)は団体戦トーナメント戦で実施した。中学女子(15チーム約60名参加)も団体戦トーナメント戦にて実施した。小学生(15チーム約100名参加)は団体戦トーナメント戦にて実施した。



# 協会表彰

平成20年度静岡県柔道協会表彰が11月22日(土)午後4時からホテルシティオ静岡にて行われた。

受賞者は以下の通りで例年になく多くの受賞者があり、喜ばしいことである。安齊会長から挨拶があり、賞状と記念品が贈呈された。受賞者を代表して藤枝順心高校の加賀谷千保さんがお礼の言葉を述べた。

## 柔道協会表彰

- 2008年世界ジュニア女子体重別選手権大会52kg級 優勝
  - 第11回全日本ジュニア女子柔道体重別選手権大会52kg級 優勝
  - 2008年フランスジュニア女子国際大会52kg級 準優勝
  - 第57回全国高等学校総合体育大会柔道競技女子52kg級 優勝
  - 平成20年度講道館杯全日本体重別柔道選手権大会女子 3位
- 初段 加賀谷千保  
(藤枝順心高等学校)

○平成20年度全国警察柔道選手権大会女子63kg級 準優勝

参段 川口有紀  
(静岡県警察)

○第39回全国中学校柔道大会女子48kg級 優勝

初段 片岡まゆ  
(富士宮第一中学校)

○第39回全国中学校柔道大会男子73kg級 準優勝

初段 大島遼平  
(静岡学園中学校)

○第39回全国中学校柔道大会女子70kg級 3位

初段 渡辺貴子  
(富士宮第一中学校)

○第39回全国中学校柔道大会女子44kg級 3位

初段 岡本理帆  
(藤枝順心中学校)

○第5回全国小学生学年別柔道大会5年生男子45kg級 優勝

森下北斗  
(神土館)

○第5回全国小学生学年別柔道大会5年生男子45kg超級 3位

小笠原雄也

○第5回全国小学生学年別柔道大会5年生女子40kg級 3位

鈴木茉莉  
(柔清会)

○2008年北京オリンピック柔道競技63kg級 出場

武段 バルボザ・ユリ  
(県立天竜林業高校OG)

○2008年北京パラリンピック柔道競技52kg級 出場

初段 土屋美奈子  
(県立浜松視覚特別支援学校)



第5回全国小学生学年別柔道大会

平成20年8月24日

浜松アリーナ

5年男子45kg級

森下北斗(神戸館)

優勝

上村悠真(高山柔道塾)

予選リーグ敗退

5年男子45kg超級

小笠原雄也(藤枝柔道倶楽部)

3位

山村 響(育誠館)

予選リーグ敗退

6年男子50kg級

小林大貴(清流館山縣道場)

予選リーグ敗退

望月飛翔(静岡錬心館)

予選リーグ敗退

6年男子50kg超級

花井拓哉(積武館)

決勝トーナメント

1回戦敗退(ベスト16)

岡村康平(富士市柔道会)

決勝トーナメント

2回戦進出(ベスト8)

5年女子40kg級

鈴木茉莉(柔清会)

3位

成宮妃世梨(静岡東部柔道クラブ)

決勝トーナメント

1回戦敗退(ベスト16)

5年女子40kg超級

楠 麻衣(伊豆長岡柔道会)

決勝トーナメント

2回戦進出(ベスト8)

植松ほたる(富士市柔道会)

予選リーグ敗退

6年女子45kg級

岩崎光沙(神戸館)

予選リーグ敗退

渡辺香奈(静岡錬心館)

予選リーグ敗退

6年女子45kg超級

佐山礼夢瑠(大仁柔道会)

予選リーグ敗退

遠田真子(清水柔道倶楽部)

予選リーグ敗退

第39回全国中学校柔道大会

平成20年8月19日~22日

石川県

男子団体

静岡学園中学校

予選リーグ1位

決勝トーナメント

1回戦負け

静岡学園中0-2

企救中(福岡)  
企救中は準優勝

女子団体

富士宮市立富士宮第一中学校

ベスト16

予選リーグ1位

決勝トーナメント

1回戦

富士宮第一中1-0

五所川原第一中(青森)

2回戦

富士宮第一中0-2

相原中(神奈川)  
相原中は優勝

男子個人

55kg級 佐藤光将(静岡学園中)

3回戦進出

60kg級 大塚智也(開成中)

3回戦進出

66kg級 立川功大(東海大翔洋中)

3回戦進出

73kg級 大島遼平(静岡学園中)

準優勝

81kg級 山本雄也(笠井中)

初戦敗退

90kg級 渡辺浩貴(福田中)

初戦敗退

90kg超級 小澤秀彰(静岡学園中)

3回戦進出

女子個人

44kg級 岡本理帆(藤枝順心中)

3位

48kg級 片岡まゆ(富士宮一中)

優勝

52kg級 秋山侑里佳(藤枝順心中)

5位

57kg級 渡辺明里(富士宮一中)

5位

63kg級 村山のどか(市沼高中)

2回戦進出

70kg級 渡辺貴子(富士宮一中)

3位

70kg超級 岩崎光希(東海大翔洋中)

3回戦進出

第57回全国高等学校総合体育大会

平成20年8月5日~9日

埼玉県上尾市

男子団体戦

東海大学付属翔洋高等学校

初戦敗退

二回戦 東海大翔洋1-2

新田(愛媛)

女子団体戦

東海大学付属翔洋高等学校

ベスト16

二回戦 東海大翔洋1-1

立命館宇治(京都)

三回戦 東海大翔洋1-2

敬愛(福岡)

男子個人戦

60kg級 鈴木壯太(浜松西)

初戦敗退

66kg級 白土 優(浜松商業)

ベスト16

73kg級 鈴木 隼(静岡学園)

初戦敗退

81kg級 堀川達也(東海大翔洋)

初戦敗退

90kg級 伊野和也(飛龍)

2回戦敗退

100kg級 平井亮輔(東海大翔洋)

初戦敗退

100kg超級 新村三四郎(浜松商業)

初戦敗退

女子個人戦

48kg級 金田結花(浜松商業)

ベスト16

52kg級 加賀谷千保(藤枝順心)

優勝

57kg級 秋山奈々絵(藤枝順心)

初戦敗退

63kg級 鈴木流風(浜松商業)

初戦敗退

70kg級 綾部友美(東海大翔洋)

ベスト16

78kg級 井深寿美(庵原)

初戦敗退

78kg超級 土屋文香(東海大翔洋)

初戦敗退

第33回全国教員柔道大会

7月27日  
新潟市豊栄総合体育館  
1回戦 静岡県0-4長崎県  
出場選手

- 先鋒 水口 透 (日本大学三島高校)
- 次鋒 中村 航 (島田学園高校)
- 中堅 須田直之 (清水東高校)
- 副将 井口往彦 (浜北西高校)
- 大将 山崎大介 (富士宮北高校)
- 監督 梶原和洋 (御殿場高校)

都道府県対抗  
第24回全国女子柔道大会

6月14・15日  
岡山武道館

- 1回戦 静岡県1-2佐賀県
- 先鋒 川口有紀 (静岡県警察)
- 次鋒 勝呂 綾 (日本大学)
- 中堅 杉山希美 (東海大学)
- 副将 鈴木美穂 (名城大学)
- 大将 岡田紘味 (三井住友海上火災)
- コーチ 望月加奈子 (常葉学園高校)
- 監督 左口直人 (天竜林業高校)



全日本ジュニア柔道体重別選手県大会

県大会  
7月6日  
静岡県武道館  
全国大会  
9月13日(土) 14日(日)

- 埼玉県立武道館
- 男子60kg級 庄司史成 (静岡学園高校)
- 男子66kg級 白土 優 (浜松商業高校)
- 男子73kg級 梅原拓実 (菰山柔道教室)
- 男子81kg級 高田博文 (静岡学園高校)
- 男子100kg級 渡辺祥真 (沼津市立沼津高校)
- 男子100kg超級 坂中慎吾 (静岡産業大学)

- 女子48kg級 伊藤美麗 (藤枝順心高校)
- 女子52kg級 近藤美咲 (藤枝順心高校)
- 加賀谷千保 (藤枝順心高校)

全国大会優勝

- 女子57kg級 鈴木里穂 (東海大翔洋高校)
- 女子63kg級 鈴木流風 (浜松商業高校)

- 女子70kg級 綾部友美 (東海大翔洋高校)
- 女子78kg級 古木里香 (浜松商業高校)

全国大会2回戦進出  
女子78kg超級 土屋文香 (東海大学翔洋高校)

全国大会5位  
(東海地区大会を経て全国大会に出場)

世界ジュニア選手権大会  
(タイ バンコク)

女子52kg級 加賀谷千保 (藤枝順心高校)

優勝

講道館杯

女子52kg級 加賀谷千保 (藤枝順心高校)

第3位

全日本選手権大会

4月29日(火)  
日本武道館  
増田圭省 (セコム)

2回戦敗退

全日本女子柔道選手権大会

4月20日(日)  
岡田紘味 (三井住友海上火災)

3回戦敗退 (ベスト16)

第20回マルちゃん杯  
中部少年柔道大会

平成20年6月1日(日)  
浜北総合体育館 グリーンアリーナ  
5月31日(土) 午後2時から  
マルちゃん杯では5年ぶりとなる柔道教室が行われた。講師は佐藤全日本柔道連盟副会長、越野国際武道大学柔道部監督、中村旭化成柔道部監督の三先生が務められ、東洋水産株式会社柔道部の皆さんと地元の中学校の柔道部顧問の先生方が補助として参加された。安齊会長の挨拶に続き、佐藤先生から最近の柔道界の様子等の講話が行われ、越野先生と中村先生の技の披露が行われた。

場を後にした姿はすばらしかった。  
中部地区9県から少年、中学校男子、中学校女子合わせて261チーム約1700人の選手が参加して行われた。開会式では会場いっぱい選手が整列し壮観であった。県毎に紹介された大きな拍手を受けていた。

試合場では終日気合のこもった掛け声が飛び交い、2階席の保護者から熱い声援が送られていた。  
少年では岐阜の羽島柔道少年団が優勝し、中学は男女とも愛知県大成中学が優勝し全国レベルの実力を発揮した。静岡県勢の結果は以下の通り。

- 中学男子の部 静岡学園中学 第2位
- 中学女子の部 富士宮第一中学 第2位
- 小学生 岡村康平 (富士市柔道会)
- 中学生男子 小澤秀彰 (静岡学園中学)
- 中学生女子 渡辺貴子 (富士宮第一中学)

- 佐藤五八郎杯 (県内優秀選手)

参加者は約500人だったが、皆満足できるすばらしい講習会になった。講師の中村先生は所用のため講習会終了後帰られたが、忙しい中小生と気軽に写真を撮りきちんと挨拶をされ会



### 伊豆長岡柔道会

- ② 〒410-2221 伊豆の国市南江間1930-27
- ③ ☎055-947-0537
- ④ 会長 正治 嘉
- ⑤ 児童3人 小学生30人 中学生10人

県内各地でがんばっている「道場」を各地区2道場ずつ紹介します。

# 道場紹介

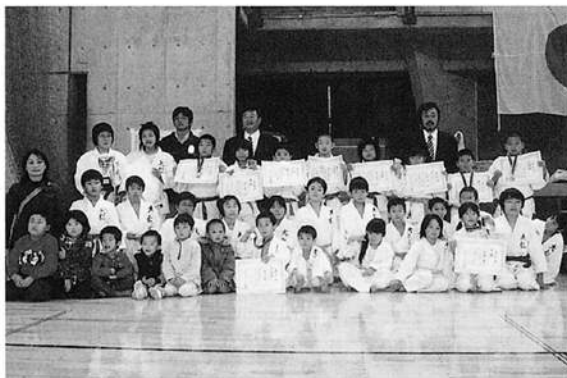
- ① 名称
- ② 住所
- ③ 連絡先
- ④ 代表者氏名
- ⑤ 所属人数

### 大仁柔道会

- ② 〒410-2325 伊豆の国市神島1121-5 (代表 菊池 隆)
- ③ ☎0558-76-2813 (代表 菊池 隆)
- ④ 代表者 菊池 隆 和 会長 望月 良 和
- ⑤ 児童5人 小学生35人 中学生10人 高校生8人 大学・社会人12人

⑥ 道場紹介  
昭和25年頃より大仁警察署の道場で大仁高校の男子生徒の柔道指導を始めた当柔道会の創設

⑥ 道場紹介  
昭和51年、現師範橋本五十夫先生・現会長正治嘉先生他有志により伊豆長岡柔道会を創設。県内大会や全国大会においても優秀な成績を修めてきました。現在も火・木・金・土の週4日、伊豆の国市長岡体育館にて幼稚園生から小学生・中学生が目標を持って練習に励んでいます。



者であります故望月映英先生が戦後の第一次青少年荒廃期と言われた時代背景を受け、昭和29年9月、30余名の会員と地元理解者の後押しを元に大仁柔道会が設立されました。会創立以来、54年の月日を数えるに至りました。この間、多くの優秀選手を排出し、数々の大会に大仁柔道会の足跡を刻んできました。現在、約50名の小学生と10名程の指導者で伊豆の国市大仁武道館にて火、木、土の19時から21時まで、「一本を取る柔道」を目標に汗を流しております。厳しい中にも楽しい雰囲気稽古ができておりますので、お気軽に顔を見せてください。

### 静岡東部柔道クラブ

- ② 〒420-0847 静岡市葵区西千代田町33-5
- ③ ☎054-245-0829
- ④ 代表者 森 順 次
- ⑤ 小学生16人 中学生15人 大学・社会人7人

⑥ 道場紹介  
私たち、静岡東部柔道クラブは、静岡市体育協会の夜間スポーツ教室の一貫として、活動しています。当柔道クラブは、平成2年8月に東部体育館の開設とともに柔道教室として立ち上がりました。当時、故永野哲夫先生を中心に、2、3名の指導員で数名の教室生を相手に練習を行っていましたが、十分な練習も出来なく、中央体育館の柔道教室に出稽古に行くことがしばしばありました。

静岡東部柔道クラブのモットーは、「柔道は強くなくてもあいさつは出来る」の故永野先生の教えを大切に守り、礼法と大きな声を出すことを常に心掛けています。現在、小学生から一般まで38名が練習に取り組んでいます。練習日は毎週月・木の2日、時間帯としては前半の1時間は小学生を中心とした基礎練習を行い、後半では中学生から一般の教室生を中心に実践的な乱取り



稽古を行なっています。教室生の柔道を始めるきっかけはそれぞれ違いますが、小学生から始めた生徒は、六年生、更に中学、高校まで続けてくれることが何よりも嬉しく思います。

ピックなニュースとして、教室生のOGで現在、藤枝順心高校の加賀谷千保さんが、10月23日、バンコクで行なわれた世界ジュニア大会52kg級で見事優勝したことです。教室生たちには良い見本となり、よい目標となることと確信しています。まだまだ、未熟な柔道クラブですが、指導員一丸となって柔道の底辺拡大に寄与したいと思えます。今後ともご指導、ご支援のほど宜しくお願いいたします。



### 大井川柔道スポーツ少年団

- ②〒421-0216 焼津市相川476-1
- ③☎054-622-4176
- ④団長 石田明志
- ⑤児童3人 小学生16人



#### ⑥道場紹介

昭和52年6月21日、大井川町ちびっ子柔道教室として始まり、焼津市立大井川体育館に於いて毎週火曜日と金曜日の2回、午後6時30分より8時30分まで稽

### 大東柔道クラブ

- ②掛川市三俣398
- ③☎0537-72-2268
- ④部長 岩倉隆樹
- ⑤児童1人 小学生35人 中学生3人  
大学・社会人12人

#### ⑥道場紹介

昭和53年大東町柔道クラブとして設立し、その後町村合併により掛川市体育協会柔道部に編入され、大東柔道クラブと改名し来年は創立30周年を迎えます。今は130畳の立派な道場で週2回

古をしています。

指導員は10名、たまに卒団した中、高校生が参加してくれま

す。団員には、大きな声を出す、練習は休まない、そして友達を大切にするように指導をしています。

柔道を通して、逆に、子ども達に教えられる事も多く、私達も考えさせられています。

柔道の素晴らしさを実感しています。



の練習をしています。最初の5年間程は、練習の度に50畳の畳を上げ下ろししていたことは忘れられません。当然練習時間は今の半分でしたが、その頃のほうが強かったのは集中力の違いでしょうか。

創立当時入部してきた小学生が今は立派に成長し指導者として戻ってきて指導の中心となっています。

指導方針は小学生が主力のクラブということで、余分なことは

は教えない、柔道の基本だけを繰り返し繰り返し教える、ということをもットーとしています。

勝ち負けは基本を身に付けたうえでこだわれば良いと考えています。指導運営に手は抜かないがあまり熱くなりすぎない事が肝要と考えています。あまり熱くなりすぎると内、外共に軋轢が生じ長続きしません。「たかが柔道、されど柔道」が基本方針です。よろしくご指導お願いいたします。

### 笠井柔道館

- ②〒431-3107 浜松市東区笠井町340の1
- ③☎053-433-9167
- ④代表者 坪山龍夫
- ⑤児童2人 小学生18人 中学生16人  
大学生1人 社会人5人

#### ⑥道場紹介

昭和62年6人の子供達と16畳の店舗改造の道場からスタートしました。その後、父母の方々の手を借りて現在の場所に道場設立、20年が経ちました。その間に全国大会へ大勢出場



する事が出来ました。「勇往邁進」(諦めずに前に進む事)をモットーに掃除から始まり、元気なあいさつ、礼儀正しさ、苦しさに耐える心、喜びや、チームでの達成感などを通して「基本重視」の柔道を学んでいます。

さらに、道場で行なわれているレスリング教室では、俊敏性、粘り強さ、バランス感覚も強化しています。

生涯を通じて柔道が好きであり続けて欲しいと云う願いながらOB・先輩が後輩を指導しながら全力で稽古に励んでいます。

# 形講習会

6月7日(土) 午前10時〜午後4時 静岡県武道館

講道館護身術の講習会が講道館練成部主事・早稲田大学教授八段小野澤弘史先生をお迎えして行われた。受講者は協会役員合わせて69名と盛会であった。

安齊会長の挨拶の後、野田理事長より講師の小野澤先生の紹介が行われ、先生の講義が始められた。

講義の後は実技指導になり説明と模範演技を見せていただいた。受講生の皆さんは、繰り返し練習し、より早く正確に演ずることができるよう努力していた。

閉校式では安齊会長から受講生を代表して水嶋武雄七段に修了書が授与された。



閉校式では安齊会長から受講生を代表して水嶋武雄七段に修了書が授与された。

# 平成20年度静岡県柔道選手権大会

平成21年2月8日(日) 静岡県武道館

男子  
優勝 小椋俊彦(静岡県警察)  
2位 土田将正(聖明病院)  
3位 齊藤和仁(静岡県警察)  
優勝した小椋選手と推薦で増

田圭省(セコム)が東海大会へ出場する。女子は土屋文香(東海大学翔洋高校)選手と岡田紘味(掛川柔道クラブ)選手が東海大会へ出場する。

# 安全指導講習会開催

平成21年2月8日(日) 静岡県武道館

全日本柔道連盟主催の「安全指導」講習会が佐藤幸夫(東京都教職員研修センター教授)先生をお迎えして行われた。県内の指導者が多数参加し、熱心に先生の講義を受講した。全日本柔道連盟が発行している「柔道の安全指導」の冊子を参考に指導者として必要な事柄を、限ら

れた時間の中で丁寧に説明していただいた。  
なお、安全講習会に続いて安齊雄会長を講師として今回改定された国際柔道連盟試合審判規定に関する講習会が実施され、多くの指導者が受講し、新ルールに対する理解を深めた。

# 少年講習会

12月21日(日) 静岡市北部体育館

児童・指導者・協会関係者約650名が参加して全柔連主催の柔道教室が開催された。講師は金野潤氏(日本大学柔道部監督)、腹巻宏一氏(柔道塾「紀柔館」館長)、松田基子氏(大阪体育大学柔道部コーチ)の3名が担当された。

安齊会長の挨拶に続き、講師の3名より挨拶をいただき早速講習が開始された。腹巻先生は普段指導されている実践に基づき基本的な動きを指導された。

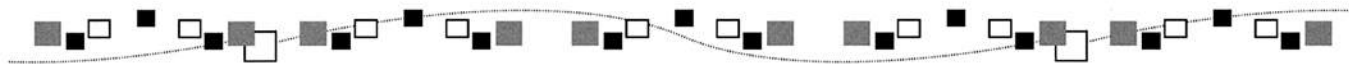
松田先生は得意の「払い腰」を指導された。日本の金野先生は強くなる秘訣として①柔道を好きになること、②正しい柔道を学ぶこと、③感謝の心を持つこと、の3つをあげられた。

昼食後の懇談の中でも、各先生方の実体験に基づいた指導方法など多くの示唆に富んだ話をしていただいた。実技や講話を含め大変中味の濃い講習会で午後3時半まで行われた。



# 新人選手紹介コーナー

今年度活躍された若い選手を例年通り紹介します。今年度は8月に浜松で行われた第5回全国小学生学年別大会で3名の入賞者が出ました。5年生男子45kg級優勝の森下君(神戸館) 5年生男子45kg超級3位の小笠原君(藤枝柔道倶楽部) 5年女子40kg級3位の鈴木さん(柔清会)の3名です。また、第39回全国中学校柔道大会では4名の入賞者が出ました。女子48kg級で優勝した片岡さん(富士宮第一中学)、男子73kg級で準優勝した大島君(静岡学園中学)、女子70kg級で3位に入賞した渡辺さん(富士宮第一中学)、そして女子44kg級で3位に入賞した岡本さん(藤枝順心中学校)の4名です。そして今年度最も活躍してくれたのは、昨年度も紹介しましたが藤枝順心高校の加賀谷さんです。全日本ジュニアで優勝し、インターハイも優勝でした。フランスジュニア国際では準優勝と充実した1年でした。また、嘉納杯では3位に入賞し、シニアの部でも十分戦えることを示してくれました。以上の8名を紹介します。



◎第5回全国小学生学年別柔道大会5年生男子45kg級優勝

森下北斗君 (神戸館)

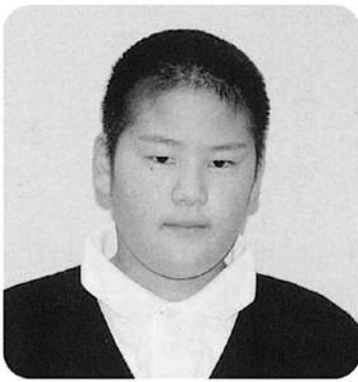
浜松アリーナで開催された大会で地元静岡県勢でただ一人見事優勝を果たしてくれました。柔道を始めたきっかけは所属する神戸館の会長さんに勧められたからだそうです。優勝して改めて全国のレベルを実感したそうです。まだ5年生ですので来年の大会もあります。柔道が強い中学校に進学し、全国中学校大会でも優勝したいという夢を持っているそうです。指導されている神山さんからは「静岡県で開催となった年に優勝できたのでとても嬉しく思います。当日の試合では、立ち技でも寝技でも先に攻めるといふスピードのある柔道ができていました。この結果は、本人の日頃の努力



◎第5回全国小学生学年別柔道大会5年生男子45kg超級3位

小笠原雄也君 (藤枝柔道倶楽部)

小笠原君は父親の一敏さんの柔道の練習について行き、楽しそうだなあと思ったことがきっかけで柔道を始めたそうです。入賞に関しては「まさか入賞できるとは思っていませんでした。僕の柔道に関わって下さった全ての方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。」と、謙虚です。まだ5年生です

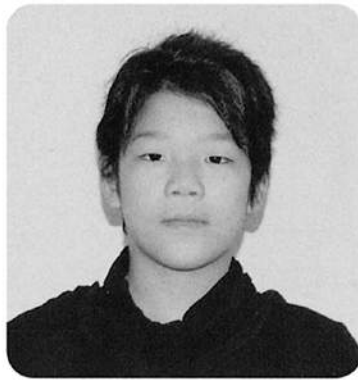


は勿論ですが、彼を支え応援してくれるご両親や、双子の弟でライバルでもある雄斗君の存在が大きいと感じました。まだ小学生ですが、今後どんな活躍をしてくれるか非常に楽しみな選手です。」とのコメントをいただいています。

◎第5回全国小学生学年別柔道大会5年女子40kg級3位

鈴木茉莉さん (柔清会)

鈴木さんが柔道を始めたきっかけは、お兄さんがやっついて楽しそうだと思ったことだそうです。入賞しての感想は「初めて出場した全国大会で緊張したけど、3位になれてうれしかっ



ので「一日一日の練習、一試合一試合を大切にしていきたい」と来年度に向けて意気込みを語っています。指導者からは「普段の練習はもちろんの事、出稽古や家でのトレーニングなど毎日の積み重ねが今回の結果につながったのだと思います。来年は小学生最後の年なので今年以上の成績が残せるよう期待しています。」と励ましの言葉をもらっています。

たです。でも、優勝できなかったのは悔しかったです。」と素直に語ってくれました。「来年も全国大会に出場し、優勝したいです。将来は谷本選手のように内股を練習し上手くできるようになりたいです。そして、オリンピックに出て活躍したいです。」と来年そして将来の夢を語っています。指導者からは「全国大会では目標のベスト4に入ることができました。これも日頃から練習を熱心にやり続けた結果だと思います。これからも大きな目標(夢はオリンピック)に向けて鍛錬してください。」とエールを送られています。

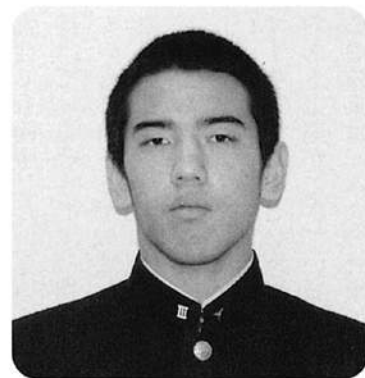


片岡 まゆさん  
(富士宮第一中学)

◎第39回全国中学校柔道大会  
女子48kg級 優勝

片岡さんは以前このコーナー

で紹介したことがあります。団体戦でも全国5位に入賞する等、順調に育ってくれています。優勝の感想は次のように語っています。「狙っていたので優勝できてよかったです。先生とみんなまで歩んできた一年は厳しかったけど充実していた。富士宮第一中学校の渡辺先生だから優勝させてくれたのだと思う。」今後は「4年後のロンドンオリンピックに出場し、8年後のオリンピックでは金メダルを取りたい。」大きな夢を持っています。指導者からは「とにかく柔道が大好きで、常に目標を持って、練習・試合に取り組んでいます。今の謙虚さを忘れないでオリンピックを狙って欲しいです。」との言葉を送られています。



大島 遼 平君  
(静岡学園中学)

◎第39回全国中学校柔道大会  
男子73kg級 準優勝

大島君が柔道を始めたきっかけは「パワーが有り余って、いたずらばかりしていたので父親のやっていた柔道でパワーを分散させようと思いはじめました。」というユニークなきっかけです。準優勝については「優勝を目指していたので、うれしさよりも悔しさの方が大きかったです。」と無念のようです。今後は「高校生になったら優勝できなかった悔しさをバネに日本一を目標にがんばりたい」と決意を述べてくれました。指導者からは「文武両道を貫き、性格も良く勉強面においても努力を惜しまない生徒。柔道に対しては貪欲であり常に向上心を持ち日々の練習に取り組んでいる。柔軟性

もあり足技を上手く使いこなすことができる選手であるので、これからの成長が楽しみであり、高校では必ず日本一を取って欲しい。」と賞賛されています。



渡辺 貴子さん  
(富士宮第一中学)

◎第39回全国中学校柔道大会  
女子70kg級 3位

渡辺さんが柔道を始めたきっかけは、「中学の柔道部監督である父親の道場(練習)に毎日遊びに行っているうちに自然に始めていた」ということだそうです。3位の感想は「判定で優勝した選手に負けたけど、まだまだ努力不足だと思いました。もっともっと練習して100%の自信をつけたい。父であり監督でもある渡辺先生に優勝をプレゼントできなくて……。それが一番悔しいです。」今後は「まだ

まだ努力不足なので、しっかりと練習をします。進路は寝技の強い高校に行きたいです。」と足元をしっかり見つけています。指導者からは「決してセンスがあるわけではないけど、私の厳しさに負けないで努力してきました。父として監督としてよくがんばったと褒めてやりたいと思います。」とすばらしい言葉を送られています。



岡本 理帆さん  
(藤枝順心中学校)

◎第39回全国中学校柔道大会  
女子44kg級 3位

岡本さんが柔道を始めたきっかけは「姉の友達に誘われた」というごく平凡な理由だそうです。しかし、そんなきっかけで始めた柔道ですが見事全国3位になりました。3位入賞には

「優勝したかったのでくやしかったです。」とコメントしてくれました。2年生ですので「来年は絶対優勝したいです。」と決意を述べています。指導者からは「毎日高校生と一緒に練習を行っている彼女ですが、強くなりたいという気持ち、相手に負けたくないという気持ち、投げられた時の悔しい気持ち等、高校生以上に強い気持ちを持って練習しているからこそ今年度のような結果がでたのだと思います。この結果に満足せずにさらなる頑張り、努力をしてほしいと思います。」と期待を寄せられています。



加賀谷 千保さん

(藤枝順心高校)

◎全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 優勝(2連覇)

◎世界ジュニア柔道選手権大会 優勝

◎第57回全国高校総合体育大会 優勝

◎フランスジュニア国際柔道大会 準優勝

◎講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 3位

(階級は全て52kg級)

昨年もこのコーナーで紹介しましたが、今年はさらに大きく成長し、見事に昨年以上にすばらしい結果を残してくれました。今年度の結果に対しては「嬉しいの一言です。今まで私を支えてきて下さった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。」と素直に喜びを語っています。来年度からは「山梨学院大学に進学します。今後も努力を怠らせずに、自分の目標に向かってがんばります。」と今後の抱負を語ってくれました。指導者からは「彼女が目標・夢を実現させるために頑張る姿には私も勉強させられました。また、彼女の頑張りには柔道部の仲間達にも勇気と感動を与えました。大学進学後も努力をする大切や周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってくださいと思います。」との言葉を送られています。

訃報

故 菅尾信義 五段

平成十九年十月二十七日逝去  
行年五十九歳

講道館柔道五段 菅尾信義先生が去る平成十九年十月二十七日享年五十九歳をもってご逝去されました。先生は、昭和二十四年、沼津市西浦に生まれ地元の高校で柔道部に所属し、レギュラーメンバーとして大会で活躍されました。

卒業後、家業の酒店を継ぎながら沼津西浦柔道会に入会し、自らの柔道修業と同時に少年部を指導し、柔道普及、青少年の育成にご尽力され、現在、沼津西浦柔道会副会長としての重責を果たしておりました。又、東部地区役員・沼津柔道連盟役員として各大会の審判を務め多くの方々の信望をあつめておりました。

先生の志は、まだまだこれからという時期であり誠に残念です。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

故 石川 盛 六段

平成二十年五月九日逝去  
行年六十六歳

栃木県出身の石川先生は国士館大学卒業後、縁あって静岡県立の公立高校採用試験を受験され合格し、体育科教員として三十九年間に渡りご尽力されました。榛原高校、横須賀高校、焼津水産高校、静岡中央高校と長きに渡り高校教育の第一線で活躍になりました。各学校では主に柔道部の顧問として生徒と共に汗を流し多くの優秀な選手を育てられました。特に榛原高校ではインターハイ出場に導くなど活躍されました。

また、静岡県柔道協会では中央評議員や中央の事務局を担当するなど、多くの役職を勤められ、欠くことのできない人材でした。先生の書かれた賞状をお持ちの方も多いいと思います。穏やかで温厚な石川先生が六十六才という若さでお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

故 小関泰之 四段

平成二十年十二月十日逝去  
行年六十八歳

小関先生は静岡大学教育学部ご卒業後、静岡県公立学校に就職され、長年教員・校長としてご尽力されました。

掛川柔道倶楽部には静岡大学在学中の昭和三十六年四月に入会され、長年にわたりご自身の修行に努めると共に後進の指導を担当されました。昭和五十年四月からは静岡県柔道協会西部地区の幹事として協会の発展にも寄与されました。掛川市立逆川中学校や桜ヶ丘中学校の柔道部顧問として生徒の指導にも熱意を注がれました。

昭和六十三年からは掛川柔道倶楽部の副会長に就任され、平成十四年からは静岡県柔道協会西部地区参事に就任され貴重なご意見をいただいております。掛川柔道倶楽部の関係者とはもとより、多くの方々から慕われていた先生のご冥福を心からお祈りいたします。

合掌



# 第5回全国小学生学年別柔道大会開催

平成20年8月24日(日)静岡県浜松市の浜松アリーナにて第5回全国小学生学年別柔道大会が開催された。



開会式では野田昭一大会委員長の開会宣言に続き、嘉納行光大会会長、安齊悦雄大会副会長、鈴木康友名誉顧問(浜松市長)の挨拶があり、藤猪省太審判長より試合上の注意があった。選手宣誓は岡村康平君(富士市柔道会)が行った。柔道ルネッサンス運動の発表は山村響君(育誠館)と遠田真子さん(清水柔道倶楽部)が行い、それぞれ柔道に取り組み決意を述べてくれた。



試合は昨年引き続き各階級毎の8会場(32畳)で実施された。予選リーグで三疎みとなりリーグの再戦も多く、決勝トーナメントの開始は予定より多少遅れたが、熱のこもったすばらしい試合が展開された。決勝戦は軽い階級から女子・男子交互に行われ、8試合のうち4試合が「二本」で勝負がつき、まさに「二本を取る柔道」を実践してくれた試合であった。

なお、前日の23日(土)には全日本柔道連盟主催で柔道教室が実施され、地元児童・大会出場者約450名の参加があった。



講師は地元浜松西高校出身でバルセロナオリンピック52kg級の銀メダリスト溝口紀子先生(静岡文化芸術大学)と、つい先日まで現役として活躍されたカイ



口世界選手権無差別級の金メダリスト新谷翠先生(ミキハウス)であった。溝口先生の講話と新谷先生と得意技指導があり、約2時間があったという間に経過した。

静岡県関係では優勝者1名、3位入賞が2名とすばらしい結果を残してくれた。日頃道場で子ども達を指導していただいている関係者の皆様の努力の成果を称えたいと思う。



また、会場設営や補助役員としてがんばってくれた地元高校生を始め、柔道協会関係者の皆様の協力によりすばらしい大会運営がなされたことも報告しておきたい。

## 表彰

静岡県体育協会創立80周年記念表彰

- 7段 川中邦夫
- 7段 望月秋男
- 7段 石黒金次
- 7段 田中秀幸
- 6段 佐藤重雄
- 5段 大石鐵夫

静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞

- 体育功労者賞
- 8段 高田勝之

### 速報

土屋文香(東海大翔洋高校) 東海地区を勝ち抜き、平成21年度全日本女子選手権大会に出場する。

### 速報

高校新人大会  
男子団体

- 優勝 静岡学園高校
  - 2位 浜松商業高校
  - 3位 加藤学園高校
  - 3位 東海大翔洋高校
- 女子団体

- 優勝 藤枝順心高校
- 2位 東海大翔洋高校
- 3位 市立沼津高校
- 3位 浜松商業高校